

こだま

特定医療法人 生仁会
地域活動支援センターやまびこ
高山市国府町村山251-2
(0577)72-5023
令和3年1月発行 No. 143

皆さま、新しい年をどのようにお迎えでしょうか。昨年も多くの方にご利用いただき、ありがとうございました。おかげさまで、やまびこは18回目のお正月を迎えることができました。今年も皆さまと一緒に良い年となるよう取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、2020年はみなさんにとってどんな一年でしたか？2020年の漢字は「密」でしたね。3密にならないよう、新しい生活様式を意識した1年でした。他にも、新型コロナウイルスに関連する漢字が多く選ばれていましたね。

まずは、新年最初の「こだま」ということで、やまびこスタッフからのご挨拶をさせて頂きたいと思います。また、理事長からも新年の挨拶を頂きました。

スタッフ新年のごあいさつ



牧上 美由紀

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。昨年は新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、私たちの生活が一変した年でした。常時マスクをはめ、アルコール消毒液を持ち歩き、人とは一定の距離を保ち、大人数では集まらない等、新しい生活様式にまだ慣れない自分があります。やまびこも10月まで行事を中止していました。10月にやっと原山を散策するという形で行うことができ、秋の里山の風景と皆で集まって交流するという事を久しぶりに楽しみました。今まで当たり前でできていた事ができなくなるという辛さは変わりませんが、何とか工夫し、できる事に取り組みながら、この事態が収まるまでやり過ごしたいと思います。今年もどうかよろしくお願い致します。



野村 めぐみ

明けましておめでとうございます。今年が丑年ですね。昨年からのコロナ禍で、私もご多分に漏れず家庭菜園を始めてみました。牛ふんや有機堆肥を使って土作りから始め、種を植え苗になり花を咲かせて実がなって収穫を迎える…。あらためて自然の恵みに生かされていることに感謝しました。当たり前と思っていたことが当たり前でなくなり、幸せとは何かを考えさせられた年でもありました。皆さんにとっての幸せとは何か。一緒に考え取り組んでいきたいと思っています。今年もよろしくお願い致します。



田立 龍之介

明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になりました。元号が令和に変わってから早いもので2年が経ちました。世間を見渡すと暗い話題が多いですが、「物事の良し悪しは自分の考えよう」ともいえます。下を向くより上を向いて、後ろを気にしながら前を向いて歩いていきたいなと思っています。今年もよろしくお願い致します。



千嶋 加奈

明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響で、今までやっていたイベントができないことも多く、季節を感じられない1年でした。また、仕事もプライベートも思うようにいかないことが多々ありました。今年も先が見通せない状況ではありますが、今できることを考え、取り組んでいきたいと思っています。今年もよろしくお願い致します。



向畑 栞

明けましておめでとうございます。昨年は何をするにも、新型コロナウイルス感染症に振り回され、なにもなく過ごしていた日々が幸せだったと気づかされた年でした。未だに終息の兆しがみえず、年の始まりとしてはなんとも言えないスタートになりましたが、今年も新型コロナウイルス感染症の感染状況をみながら、行事やクラブなど、予防対策をしっかりと考えて検討していけたらと思います。今年もよろしくお願い致します。



三川 純子

明けましておめでとうございます。世間では、年が明けても、「コロナ」の話題でいっぱいですが、そんな中でも、今まで気づけなかった何かをみつけられる年にしたいなと思っています。昨年は、クラブや行事が、なかなか、行えませんでした。今年、**「創意工夫」**をモットーに、利用者の皆さんと一緒に、楽しみを探せればと考えています。よろしくお願い致します。



新年最初の挨拶を当法人の理事長で、須田病院院長の加藤秀明先生にお願いしました。



須田病院長 加藤 秀明

統合失調症の成書に、当事者の家族が「当事者・家族からみた統合失調症」を寄稿し、その中で「統合失調症になってもだいじょうぶな社会とは」について述べています。当地方も大丈夫な地域でありたいと思いますので、紹介します。以下の5つです。

①統合失調症を始めとする精神疾患が誰にとっても身近な病気なること、②統合失調症が回復可能な、より明るいイメージの病気になること、③相談や医療が必要になったら容易につながるができる体制になること、④家族支援の体制があること、⑤当事者・家族が病気を隠さずに普通の生活ができること。

私はこの中で、「身近で、明るいイメージの病気になること、病気を隠さずに普通の生活ができること」と言った統合失調症に対する社会の認識の問題が最も重要であろうと思いました。やまびこには相談や医療が容易に受けられる体制において頑張ってもらいたいと思います。皆さんはどのように感じましたか。皆さんの感想を聞かせてもらいたいと思います。

今年はコロナ禍が収束し、普通の生活に戻れることを願っています。今年も宜しくお願いします。



お知らせ

○行事について

R3年1月の行事は、飛騨地区で新型コロナウイルス感染症が急速に拡大したため、**中止**することに決まりました。2月以降の行事については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況をみながら検討します。詳細が分かり次第、ご連絡しますのでよろしくお願ひします。

○ストレッチクラブについて

新型コロナウイルス感染症の影響で、ストレッチクラブの中止が続いていましたが、R3年1月から、オンライン(zoom)を使用してストレッチクラブを行います。定員がありますので、興味のある方は、クラブ案内をご覧ください。

ストレッチクラブの講師の先生が、廣田輝子先生から坂本亜矢子先生に変わります。坂本先生には、R3年1月からご指導して頂きます。

さかもと あやこ
坂本 亜矢子先生 からのあいさつ

1月よりストレッチクラブの講師をさせていただきますことになりました A-STUDIO 坂本亜矢子です。

赤ちゃんからシニアの方々までの健康サポートと運動指導、こども体操教室など行っております。

運動って楽しい!!!! できるよくなるのが楽しい!!!! 楽しいから続けられる!!!!

「ENJOY SPORTS」を合言葉に、みなさんと一緒にストレッチ運動をしたいと思ひます。

宜しくお願い致します。